

# BOOK REVIEW

佐伯 育著

岩波新書 1986年 定価 本体602円

## 『コンピュータと教育』

D. A. ノーマン著／佐伯 育監訳／岡本 明・八木大彦・藤田克彦・嶋田敦夫訳

新曜社 1996年 定価 本体3600円

## 『人を賢くする道具 ソフト・テクノロジーの心理学』

佐伯 育著

岩波新書 1997年 定価 本体630円

## 『新・コンピュータと教育』

### コンピュータと教育の関係を考える

大学入試センター研究開発部教授

荒井克弘

#### はじめに

セオドア・ローザックの *The Cult of Information* (『コンピュータの神話学』朝日新聞社、1989年) という書物を科学史家の友人と 2 人で翻訳したことがある。文明史的な観点からの体制批判を得意とするローザックは、無前提にコンピュータ社会へなだれ込んでいこうとするアメリカ社会に警告を発した

かったのである。コンピュータ教育は彼の書物の中では恰好の攻撃目標となった。最も人間的な活動であるはずの教育になぜコンピュータが使われなくてはならないのか。機械は非人間的な労働、過酷な労働現場に使われるべきであって、コンピュータが人間の教師の代わりに子どもを教える必要はないと主張した。貧困すれすれの薄給でこき使われる初中等教育の教師の待遇をなおざりにして、何十万ドルもの金をかけてコンピュータ・

